



—東北生産性本部—

## 2019年 新年労使交流会を開催

1月21日（月）仙台市の江陽グランドホテルにおいて『東北生産性本部2019年 新年労使交流会（新春講演会、賀詞交歓会）』を約90名のご参加を得て開催いたしました。

### 【開会挨拶 会長 宇部文雄】

本日はお忙しい中、新年労使交流会にご参加いただき、誠にありがとうございます。また、日頃からみなさまには私どもの事業に対しまして、多大なるご理解とご支援をいただきまして、改めまして感謝申し上げます。

さて、最近では人口減少あるいは高齢化の進展といったようなことがあちこちで叫ばれているところであります。そうした中、昨年は、働き方改革や外国人労働者の受け入れといった今後の日本の長期的な経済成長を目指す中で、国の施策も進められてきた状況にあります。また一方では、最近特に人工知能（AI）やIoTといったデジタル革命や技術革新が確実に広まってまいりまして、我々の職場の中にどう取り入れて新しいビジネスモデルをどう作り出していくか、あるいは効率化をどう進めていくかということがますます重要になってきているところであります。そうした意味では、生産性を高め付加価値を拡大し労働分配率を高めて行こうという新たな時代に改めて入ってきたところを認識しているところであります。

私どもの事業につきましても、そうしたことを踏まえながら、少しでもみなさまのお役に立つような活動を展開してまいりたいと思っておりますので、引き続きのご支援ならびにご参加をお願い申し上げます。



### 新春講演 「2019年日本を取り巻く内外情勢」

講師 株式会社双日総合研究所チーフエコノミスト 吉崎 達彦 氏

### 【ご講演要旨】

- 今年には皇室行事、外交日程、国政選挙で忙しい1年
- 世界経済にとって悩み多き年の始まり
- 米国経済は順調な景気回復が続いたが、アニマル・スピリッツの時代は終わりが近い
- 3年目のトランプ劇場は「変調」  
景気減速、株価下落、貿易戦争などに警戒感
- 米中関係、特に台湾情勢には注意が必要
- 拡大する米中の貿易戦争、悩ましい日本の立ち位置
- 米中は「新冷戦」へ？アメリカの対中観が変わった  
「親中派」はどこへ行ったのか？
- 日本経済は緩やかな低成長続く、リーマンショック以前の水準は既に超える



- 輸出が足踏み→生産も停滞？2018年の自然災害を乗り越えて・・・
- 個人消費の不振を考える消費のピークは1996～97年頃、2011年がボトム
- 雇用情勢は「バブル期越え」、人口減少でも就業者数は増加（高齢者と女性）、働き方改革は重要
- 外国人訪日客は3000万人を突破、「グローバリズム」が支える日本経済
- 経済活動において「遊び」が重要になる時代、「外向き」になることが日本経済の必要条件
- 2019年の政策課題
  - 10月1日からの消費増税（8%→10%）
  - 「平成」の終わりと新元号
  - 日ロ平和条約？、国民の信を問う「衆参ダブル選挙」の可能性

以上、大変有意義なご講演ありがとうございました。

## 新年賀詞交歓会

### <賀詞交歓会>

- ・開会挨拶 副会長 田口正信(東北電労本部執行委員長)
- ・祝 辞 宮城県副知事 河端章好 様  
宮城労働局長 代田雅彦 様  
東北経済産業局地域経済部長 蘆田 和也様  
(東北経済産業局長 相樂 希美 様 代理)
- ・乾 杯 日本銀行仙台支店長 岡本宜樹 様



開会挨拶 田口副会長



祝 辞  
河端宮城県副知事



祝 辞  
代田宮城労働局長



祝 辞  
蘆田東北経済産業局地域経済部長



祝辞(乾杯のご発声も頂戴しました)  
岡本日本銀行仙台支店長

みなさま 本年もどうぞよろしくお願いたします